

Active School Kai Project 令和6年度プロジェクト計画書(報告書)

学校番号	32	学校名	都留高校		
全・定・通	定	学年	1	在籍生徒数	4 名
教育目標 (学力に関するもの)		基礎学力の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を向上させながら、社会で必要とされるコミュニケーション能力を育成する。			
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質・能力		・仲間を大切に、相手を思いやることのできる生徒。 ・主体的、創造的に考え行動できる生徒。 ・社会生活で基盤となる広い教養と知識を身に着けようとする生徒。			
各教科の取組					
教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題	
国語	実社会で生活するために必要な知識及び技能	4	4	全員がICT教育に前向きで、感想や意見、PV作品等を編集し、提出できるようになった。漢検や文検の合格率を高めた。	
	実社会で抱える問題について認識し、他者と共有するために必要な思考力、判断力、表現力	3.5	4	BYOD活用によって感想や意見、作品はまとめられるが、他者とのコミュニケーションを通して協働できる段階にはまだ至っていない。	
	主体的に学びに向かう力及び自己肯定感を持ち他者を思いやる人間性	3.5	4	BYOD活用により全員が主体的に参加した。自己肯定感も持てるようになったようにだったが、他者の思いやりを表現するのにはまだ難しい。	
	現代社会で生きていく中で必要とされる基礎的な知識及び技能	4	4	基本的な知識の定着を図ったが、十分といえる程度には達していない。特に技能に関しては教材のさらなる工夫が必要である。	
地公	自ら主体的に正邪を判断し、行動することのできる資質	4	4	裁判の判例検討や社会的課題問題の事例検討等を通じて判断力や自ら考え行動できるための力を養いたい。	
	社会に対する興味・関心の向上並びに、社会の一員としてのアディティブ・アイの育成	4	4	具体的な身近な教材からの導入や地域の問題についての探究活動等を取り入れることでこれらの資質を育成していきたい。	
数学	四則演算などの基礎的な計算力の習得及び、分配法則など基本的な知識	4	4	基本的なところはできるようになったが、いまだにミスが多くみられる。注意深く観察しながらミスを減らすように指導していきたい。	
	数式的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力	3.5	4	BYODなどを使い、視覚的に関数をとらえることができた。次年度の1年次にも使っていきたい。	
理科	粘り強く課題に取り組もうとする態度	4	4.3	ついつい解答に目が行きがちだったが、徐々にではあるが自分の解答までたどり着いてから、答え合わせができるようになってきた。	
	自然界に起こる事象を合理的に解釈する能力	4	4	身近な事象や思考実験を通して、合理的な考えを身に付けさせるよう努力はしたが、その定着の度合いは十分とは言えないと感じた。	
	観察、実験、実習のやり方を身に付け、その結果を科学的にまとめる能力	3	3.5	家庭や実験器具の使用の不都合に弊害を来し、積極的になれなかった。コアとなる実験、実習は取り入れなくてはならないと思う。	
	学んだり、自ら見出した知識や方法を適切に発信できる能力	3	3	どうしても一方的な知識、技能の伝達に陥る傾向があった。ワークシートやパワーポイントを作らせて、学んだことを発表させる場面があってもよい。	
英語	英語の聞き取りの理解を深め、実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能	3.5	4	中学時の振り返りが必要な生徒が多く、まずは基礎力が定着をできるような基本的な部分の繰り返しが必要である。	
	日常的な話題や社会的な話題について適切に表現し伝え合う能力	3.5	4	生徒間の学力差が大きい上、もともと発言することができない生徒もおり、なかなか伝え合うレベルまで達していない。	
	異文化理解を深めつつ、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度	3.5	3	異文化に興味・関心を持つことが大切で、教科書の内容を踏まえながら、異文化理解につなげていくことが大切である。	
	古典の書体、書風に関する知識	4	4	楷書と異なる行書の点画や縦画の特徴と用筆と運筆を理解し、全体の構成の技能を習得させていきたい。	
芸術	線画・字形、構成を生かし表現する能力	4	4	線画や用筆を学び、点画の連続などの特徴を生かした表現を工夫し、構想させていきたい。	
	書道に興味・関心を持ち主体的・創造的に学びあうとする態度	4	4	行書の美に関心をもち、意欲的にその表現に取り組む姿勢を持ち、その美を味わおうという気持ちで取り組んでいきたい。	
家庭	生活を主体的に営むために求められる知識及び技能	4	4	生活者として、自立・自律していくための知識・技能を実生活で生かせるように具体的に指導していきたい。	
	実験・実習等を発展させ実践的な活動を家庭や地域で行うことができる能力	3	3	個々の生活値の違いから実践的な活動を家庭や地域に発信していくことは課題である。	
	生活の営みについて課題を見つけて主体的に改善を図ろうとする態度	3	3	自主的に行動できるように、PLAN→DO→SEEの活動を意識させていきたい。	
	健康及び運動についての基礎的な知識並びに健康の保持増進のための実践力	4	4	健康及び運動の保持増進するための理解は授業の中から理解できているが実践するための行動まで達していない。生徒もいる。	
保健	生涯にわたっての豊かなスポーツライフを継続する資質や能力	3	4	生徒それぞれに、自分に必要とするスポーツ継続は理解しているが今後の計画等には至っていない。	
	明るく豊かで活力ある生活を営む態度	4	4	現状の生活に対して一生懸命であるが、将来に向けて考えることはできていない。	

教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題
情報				
総探	課題を見つけ、他者と協力・理解するとともに調査活動を実施する能力や資質	—	4	自分に合った課題を見つけ調査し、課題解決に向けて実行・調整しながら行っていたが仲間との協力性を期待したい。
	テーマの設定し計画を立案する能力。情報を分析する能力	—	4	テーマは設定できるが計画的に進める能力には少し欠けているようであった。
	他者と協働し学び合う態度。社会に参画し理想の社会を実現しようとする態度	—	4	個々での学びが優先し仲間との協働には至っていないようであった。

【授業アンケート】高評価数値の推移(※:小取点第1位まで)			R6中間	R6度末
授業の始めに授業の目標を確認することができた	①強くそう思う、②そう思う		75.0%	75.0%
話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた	①強くそう思う、②そう思う		75.0%	75.0%
他の人の話や発表に耳を傾けることができた	①強くそう思う、②そう思う		100.0%	100.0%
ノート等で授業の記録をすることができた	①強くそう思う、②そう思う		100.0%	100.0%
活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた	①強くそう思う、②そう思う		50.0%	50.0%
授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた	①強くそう思う、②そう思う		75.0%	75.0%
家庭学習(宿題や課題)と授業を、有機的に結び付けることができた	①強くそう思う、②そう思う		25.0%	50.0%
授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた	①強くそう思う、②そう思う		50.0%	50.0%

保護者アンケート結果(学力に係わるもの)
「学習意欲や基礎学力の向上につながるよう授業や教材に工夫がなされている」というアンケート項目については、約75%の保護者が「達成できている」と回答した。また、「成績評価は様々な観点から公正かつ公平に行われている」という項目についても、約75%の保護者が「達成できている」と回答した。

授業アンケート等を踏まえた総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の課題を含む)
4名の生徒であるが、学習に取り組む意欲に差がある。授業に参加すればきちんとした取り組みできるのだが、遅刻・欠席が多くみられ、授業の進度に影響を及ぼしている。後半になり遅刻・欠席は減ってきたものの後期前半の部分が抜けているため、学力差がついてしまった。次年度は出席率も上げ取りこぼしがないように学習に取り組まることが課題としてあげられる。